

烏丸通を美しくしよう

街路樹サポーター企業など清掃に汗



烏丸通でこみや落ち葉を拾う参加者たち
(京都市中京区)

烏丸通沿道の企業の従業員ら60人が23日、京都市中京区と下京区の烏丸通の街路樹周辺を清掃した。初めての取り組みで、今後、毎月1回行う。

美化活動とともに、企業の交流を図ろうと、周辺企業や事業所で作る烏丸通沿道懇談会が呼び掛け、市の街路樹サポーターに登録する企業など17団体が参加した。

(立川真悟)

午前8時50分、四条烏丸に参加者が集合。「烏丸花族」の文字をあしらった黄色の法被を着て、約30分かけて、御池通から五条

↑ 平成23年6月24日 京都新聞朝刊 23面 (市民版)



実施。参加者は「烏丸花族」と名のり、そろいの黄色い法

← 平成23年6月24日 読売新聞朝刊 31面 (地域京都)

烏丸通きれいに 沿道企業が清掃

京都のメインストリート・烏丸通をきれいにしようと、沿道企業の社員ら約60人が23日、御池〜五条間の約1.6キロで、清掃活動を開始した。烏丸通のまちづくりを話し合う「烏丸通沿道懇談会」(渡部隆夫会長)が呼びかけて実施。参加者は「烏丸花族」と名のり、そろいの黄色い法

被姿で、落ち葉や、たばこの吸い殻を拾い集めた。

清掃活動のリーダー、不動産賃貸「長谷本社」(下京区)社員の妹尾志歩さん

(37)は「烏丸通に関わる人同士のつながりも深めていきたい」と話していた。清掃活動は毎月第4木曜日の早朝。参加希望の問い合わせは市都市づくり推進課(075・222・3503)へ。

平成23年6月24日 →
産経新聞朝刊
20面

街路樹サポーター 烏丸通の美化活動

京都市のメインストリート、烏丸通を花と緑あふれる美しい通りにしようと、沿道の地権者、会社、団体の代表でつくる「烏丸通沿道懇談会」の呼びかけで市の「街路樹サポーター制度」に登録している企業・団体のメンバーらが23日、街路樹周辺の美化活動を行った。市は用具

57人が参加。この制度は「世界で最も美しい都市・京都」の実現に向け、沿道の団体が街路樹の清掃活動を行うなど協力。市は用具



提供などを行っている。

参加者たちは、汗ばむほどの陽気の中、黄色い法被を着て、御池通〜五条通間の烏丸通で街路樹周辺のごみや落ち葉などを拾い、美化活動に精を出していた。

長谷本社(同市下京区)の社員で、活動の中心メンバーのひとり、妹尾志歩さん(37)は「たくさんの人が参加してくれ上々のスタートだった。これからも美化活動など、人が集まるような取り組みをしていきたい」と話していた。今後毎月第4木曜に美化活動を行う予定という。